ATAPI DVD-ROM ドライブ

DVD-ROM12FB

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 **に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。**

次の動作マーク .... ↘次へ **に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。**

文中の用語表記

- **本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。**
  A:3.5インチフロッピーディスクドライブ
  C:ハードディスクドライブ
- **本書では、本製品を「DVDドライブ」と表記しています。**
- **文中[　]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。**
- **文中<　>で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。(例) <Enter>**
- **CD-ROM、音楽CD、CD-R/RWメディアなどを合わせて「CD」と表記しています。**
- **DVD-ROMメディアとCDを合わせて「メディア」と表記しています。**

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

パソコンの使用直後は、パソコン内部の部品に手を触れないでください。
特にCPUやVGAチップが高温になっており、手を触れるとやけどをする恐れがあります。パソコンの電源スイッチをOFFにした後、30分以上たってから作業することをおすすめします。

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
火災や感電の恐れがあります。

強制

電源ケーブルは、完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグがコンセントに接続されたまま、取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

強制

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに電源スイッチをOFFにしてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁止

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口やトレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。

レーザー光が目に入ると、視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

注意

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

各接続コネクタのチリ・ほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

DVD-ROMメディア、CD-ROM、音楽CD（以後メディアと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- メディアの表面に手を触れないでください。
- 直射日光を当てないでください。
- ベンジン、シンナー等の薬品を使ってお手入れをしないでください。
- メディアの汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布でふき取ってください。必ず、中心から外側へと向かって軽く拭き取ってください。
- メディアの表面を傷つけたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- ほこりなどにさらさないでください。
- メディアの両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。

トレーに、メディア以外のものを載せないでください。

故障や火災の原因になります。

トレーに手を入れ、挟まないように注意してください。

けがの恐れがあります。

トレーを出したまま放置しないでください。

内部にほこりが入り込んで、故障の原因になります。

禁止

ひび割れや変形、補修したメディアは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
  故障の原因となります。
- 振動が発生するところ
  けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ
  転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
  故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ
  故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ
  故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ
  故障や感電の原因となります。
- ほこりの多いところ
  故障の原因となります。

禁止

メディアを入れたまま移動しないでください。

本製品の動作中または、メディアを本製品に入れた状態での移動はしないでください。

メディア、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は必ずメディアを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

強制

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等にほこりやたばこの煙などが付着し、メディアの再生が正常にできなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

禁止

シンナー・ベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止

アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。

強制

縦置きで使用する場合は、必ず下側の2箇所のツメでメディアを固定してください。

ツメで固定しないと、メディアが外れて、故障や破損の原因となります。

目次

1 ご使用になる前に

DVDドライブをご使用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● 多彩なフォーマット形式に対応
DVDドライブの対応するメディアは次のとおりです。
・DVD ... DVD-ROM、DVD-VIDEO、DVD-R(*1)
・CD ..... CD-ROM Mode1
CD-ROM XA Mode2(Form1、Form2)
CD-R/RW(*1)、音楽CD(CD-DA)、
CD Extra、CD TEXT、Photo CD(*2)、
Video CD

*1 書き込みはできません(本製品は読み出し専用です)。
*2 再生には、Photo CDに対応したソフトウェアが必要です。

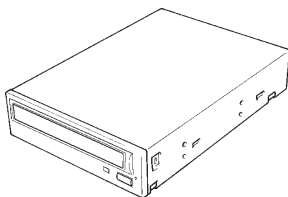
● ソフトウェアDVDプレーヤ「WinDVD」付属
DVD-VIDEO、Video CD、MPEG2、MPEG1、MP3を再生できます。

● 高速なデータの読み出しが可能
DVD-ROM 最大16200KB/sec
(12倍速再生時)
CD-ROM 最大6000KB/sec
(40倍速再生時)

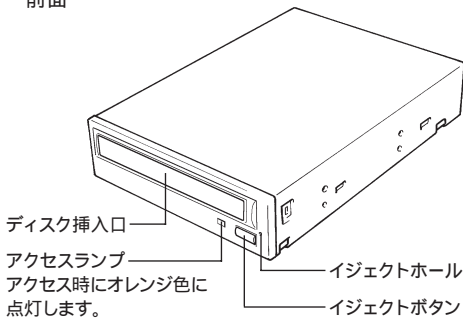
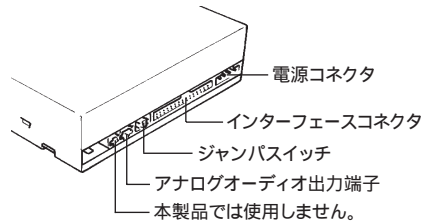
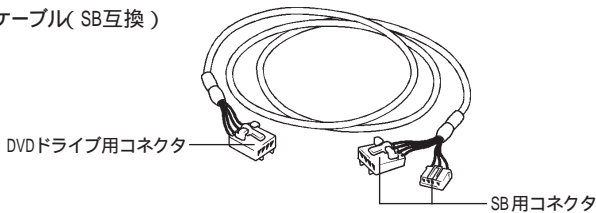
● オーディオ出力端子を装備
オーディオ機器を接続した弊社製サウンドボードSDP-AU30やSRI-M97などと接続することで、オーディオ機器から音声を出力できます。
※ 弊社製サウンドボードSRI-PJ/P/F、弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1と接続するには、別売の弊社製サウンドボード用オーディオケーブルが必要です。弊社備品販売窓口にてご購入ください。【P33】

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

●DVDドライブ 1台

●Power CD Player
(3.5インチフロッピーディスク) 1枚
※ CD TEXT対応のWindows98/95用音楽再生ソフトと、Windows95を再セットアップするときに必要なファイルが入っています。
【P29 「Windows95の再セットアップ」】

●オーディオケーブル(SB互換) 1本
●取り付けネジ 4本
●WinDVD(CD-ROM) 1枚
●ユーザーズマニュアル(本書) 1冊
●Power CD Player クイックリファレンス .. 1冊
●保証書、ユーザー登録はがき 1枚
※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名称

作業のながれ

次の手順で作業を進めてください。

パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにする

▼

DVDドライブを取り付ける環境に合わせて、DVDドライブのジャンパスイッチを設定する【P9】

▼

パソコンにDVDドライブを取り付ける ・タワー型パソコンの場合【P12】 ・デスクトップ型パソコンの場合【P13】

▼

サウンドボードに音声を出力するときは、DVDドライブとサウンドボードを接続する【P16】

▼

必要に応じて付属のソフトウェアをインストールする ・DVD-VIDEOを再生する .... WinDVD【P19】 ・CDを再生する （CD TEXTも再生可能）.......... Power CD Player【P24】

2 取り付け

DVD ドライブをパソコンに接続する手順を説明しています。

取り付けの前に

注意事項

● DVDドライブおよびパソコンは精密機器です。作業を始める前に、必ず巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお読みください」を参照してください。

● パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や設定方法は、各機器のマニュアルを参照してください。

● 作業を始める前に、ハードディスク内のデータを他のメディア（フロッピーディスクやMOディスク）にバックアップしてください。

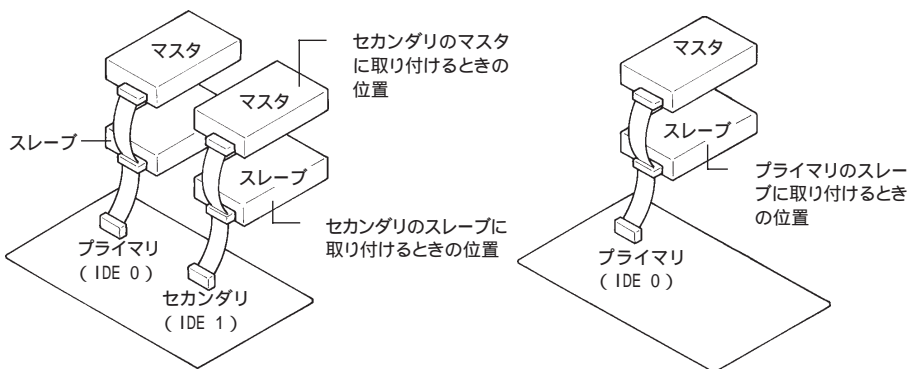
● 作業をするときは、必ずパソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにしてください。

● パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。

● 次の物を用意してください。
- ・DVDドライブ本体および付属品
- ・パソコンと周辺機器のマニュアル
- ・ドライバなどの工具類

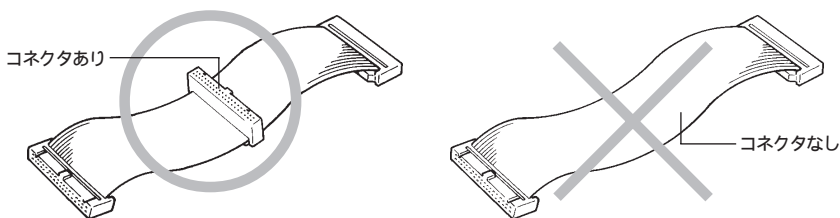
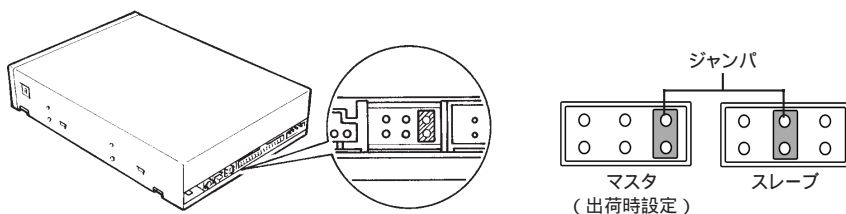
ジャンパスイッチの設定

取り付ける位置

通常、プライマリのマスタにはハードディスクが接続されています。そのため、DVDドライブは下図①～③のいずれかの位置に取り付けます。

次のページへ続く

フラットケーブルの種類

DVDドライブをスレーブとして接続する場合は、下図①のような形状のフラットケーブルが必要です。

パソコン本体のフラットケーブルが下図②のような形状の場合や、パソコン本体にフラットケーブルが付属していない場合は、弊社製IDE接続ケーブルDKV-I（別売）を使用してください。

接続のしかたとジャンパスイッチの設定

※ DOS上でDVDドライブを使用するとき（Windows98/95を再セットアップするときなど）は、必ずマスタとして接続してください。

使用環境		プライマリ（IDE 0）		セカンダリ（IDE 1）		DVDドライブのジャンパスイッチ設定
他のIDE機器	DVDドライブ	マスタ	スレーブ	マスタ	スレーブ	
1台	1台	■	○	−	−	スレーブ
		■	−	○	−	マスタ
2台	1台	■	○	■	−	スレーブ
		■	■	○	−	マスタ
		■	−	■	○	スレーブ
3台	1台	■	■	■	○	スレーブ

「○」DVDドライブが接続されている　　■ 他のIDE機器が接続されている

「−」IDE機器は接続されていない

⚠注意
- 通常、プライマリのマスタにはハードディスクを接続します。DVDドライブ1台だけを接続して使用することはできません。
- セカンダリにDVDドライブ1台だけを接続するときは、必ずマスタに設定してください（出荷時はマスタに設定されています）。
- DVDドライブはハードディスクが接続されていないフラットケーブルに接続することをおすすめします。DVDドライブとハードディスクを同じフラットケーブルに接続すると、パソコンの動作が不安定になることがあります。

WindowsNT4.0で使用する場合の制限事項

- 事前に、WindowsNT4.0の「Service Pack 4」以降を必ずインストールしてください。
  Service Packに関しては、マイクロソフト社までお問い合わせください。
- Intel社製チップセットを搭載したマザーボードでのみ動作を保証いたします。
  他社製のチップセットを搭載したマザーボードでの動作は保証いたしません。あらかじめご了承ください。
- グラフィックボードのハードウェア動き補償はサポートしておりません。あらかじめご了承ください。
- 使用しているグラフィックボードのドライバによっては、ハードウェアオーバーレイに対応していないことがあるため、動作しないことがあります。
  弊社製グラフィックボードはハードウェアオーバーレイに対応しています。

PC98-NXシリーズでの使用

CyberTrio-NXがインストールされている機種（※）では、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、DMA転送の設定ができないことがあります。DMA転送の設定を行う前に、必ずアドバンストモードに変更してください。【P17】

※ CyberTrio-NXは、Windows98/95インストールモデルに標準でインストールされています。CyberTrio-NXがインストールされていると、タスクバーにインジケータが表示されます。

- CyberTrio-NXのモードの確認方法は、タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータの色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

- 再起動後もアドバンストモードになるように、CyberTrio-NXを設定を変更します。

① [ｽﾀｰﾄ]－[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾓｰﾄﾞ]を選択します。アドバンストモードに切り替わります。

② [ｽﾀｰﾄ]－[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX ｾｯﾄｱｯﾌﾟ]を選択します。

③ [CyberTrio-NXのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ダイアログボックスが表示されます。[ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾓｰﾄﾞ]を選択して[OK]ボタンをクリックします。
詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後やWindows98/95の設定が終了した後は、アドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

CyberTrio-NX

パソコンを使う人の利用するレベルに合わせてWindowsの操作範囲や、アクセスできるフォルダを限定するためのユーティリティです。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

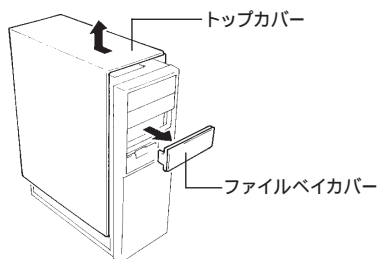
取り付け方法

取り付け例（タワー型）

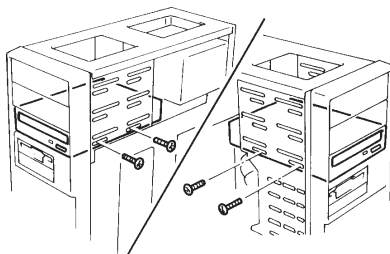
タワー型パソコンのファイルベイにDVDドライブを取り付ける場合の例です。

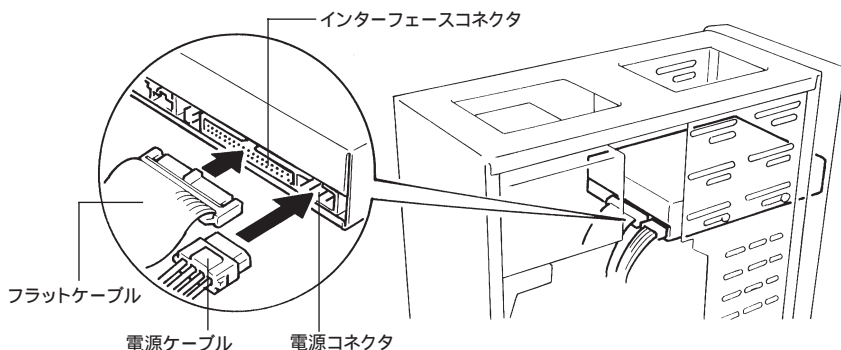
メモ　パソコンによって取り付け方法が異なります。必ずパソコンメーカの定める取り付け方法に従ってください。

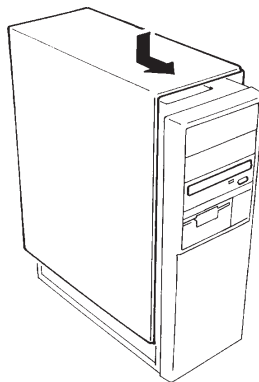
1　パソコン→周辺機器の順で電源スイッチをすべてOFFにし、ケーブル類を取り外します。パソコンのトップカバーとファイルベイカバーを外します。

⚠注意　パソコンおよび周辺機器の電源スイッチは必ずOFFにしておいてください。

2　DVDドライブの取り付け条件に合わせて、ジャンパスイッチを設定します。【P9「ジャンパスイッチの設定」】

3　DVDドライブをファイルベイに挿入し、付属の取り付けネジ（4本）で固定します。

⚠注意　ケーブルのはさみ込みやコネクタの抜けなどがないように注意してください。

4　パソコン側のフラットケーブルと電源ケーブルをDVDドライブに接続します。

パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが用意されていないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルDKV-Iを使用してください。
ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。【P9】
オーディオ出力端子への接続は、【P16「サウンドボードとの接続」】を参照してください。

次のページへ続く

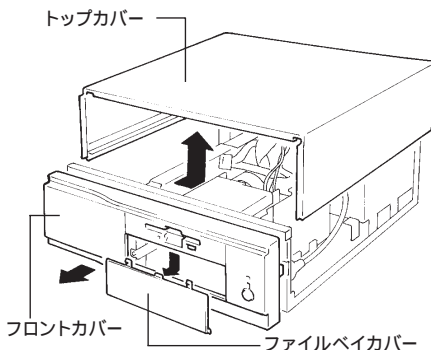
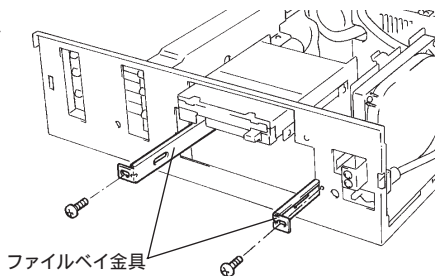
5 **パソコンのトップカバーを取り付け、ケーブル類や周辺機器を元どおり接続します。**

以上でDVDドライブの取り付けは完了です。

取り付け例（デスクトップ型）

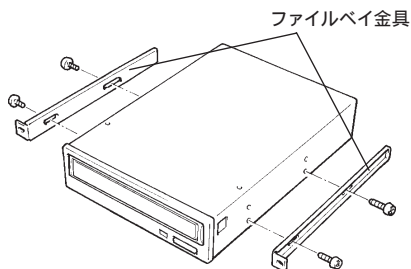
デスクトップ型パソコンのファイルベイにDVDドライブを取り付ける場合の例です。

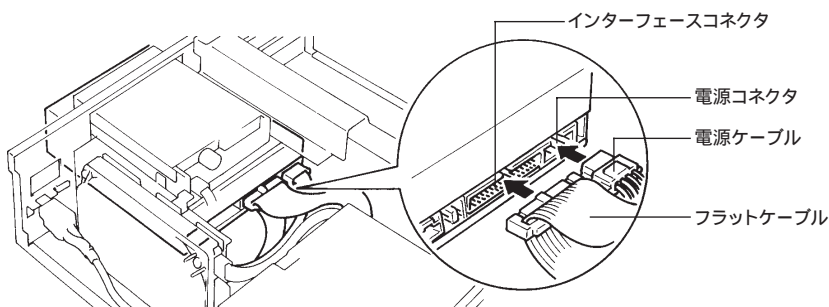
メモ パソコンによって取り付け方法が異なります。必ずパソコンメーカの定める取り付け方法に従ってください。

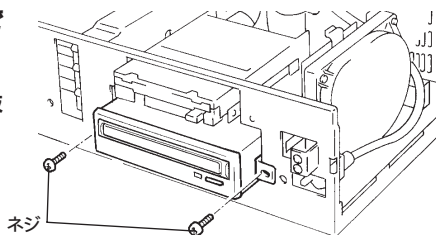
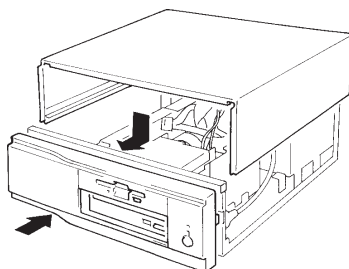
1 **パソコン→周辺機器の順で電源スイッチをすべてOFFにし、ケーブル類を取り外します。パソコンのトップカバーとファイルベイカバーを外します。**

⚠注意 **パソコンおよび周辺機器の電源スイッチは必ずOFFにしておいてください。**

2 **ファイルベイ金具を固定しているネジを外し、ファイルベイ金具を引き出します。**

次のページへ続く

3　付属の取り付けネジ（4本）でDVDドライブにファイルベイ金具を取り付けます。

4　DVDドライブの取り付け条件に合わせて、ジャンパスイッチを設定します。【P9「ジャンパスイッチの設定」】

5　DVDドライブをファイルベイに半分ほど挿入し、パソコン側のフラットケーブルと電源ケーブルを接続します。

パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが用意されていないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルDKV-Iを使用してください。
ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。【P9】
オーディオ出力端子への接続は、【P16「サウンドボードとの接続」】を参照してください。

6　DVDドライブを奥まで押し込み、手順 2 で外したネジで固定します。

⚠注意　ケーブルのはさみ込みやコネクタの抜けなどがないように注意してください。

7　パソコンのフロントカバー、トップカバーを取り付け、ケーブル類と周辺機器を元どおり接続します。

以上でDVDドライブの取り付けは完了です。

コンパック製Prolinea、DESKPROシリーズでの注意

DVDドライブをコンパック製Prolinea、DESKPROシリーズで使用する場合、パソコンの起動時に「1781:Disk 1 failure」というエラーメッセージが表示されることがあります。この場合は、次の手順でDVDドライブをセットアップし直してください。

1 パソコンの電源スイッチをOFFにします。DVDドライブのジャンパスイッチをマスタに設定し、CD-ROM専用コネクタに再度接続します。

2 パソコンの電源スイッチをONにします。メモリカウント終了後、カーソルが画面右上で点滅しているときに<F10>キーを押します。

ユーティリティが起動します。

3 [コンピュータのセットアップ(SETUP)]を選択して<Enter>キーを押します。

4 [Computer Setup PCXX.XX-J]画面内の[記憶装置]を選択して<Enter>キーを押します。

5 [記憶装置]画面内の[詳細設定]を選択して<Enter>キーを押します。

6 [詳細設定]画面内の[セカンダリディスクコントローラ]の一覧から[170-177,376-377,IRQ15]を選択して<Enter>キーを押します。

7 設定が終わったら、[OK]ボタンをクリックするか<Enter>キーを押します。

8 [記憶装置]画面に戻ったら、[OK]ボタンをクリックするか<Enter>キーを押します。

9 [Computer Setup PCXX.XX-J]画面に戻ったら[終了]を選択し、<Enter>キーを押します。

10 [ユーティリティの終了]を選択して<Enter>キーを押します。

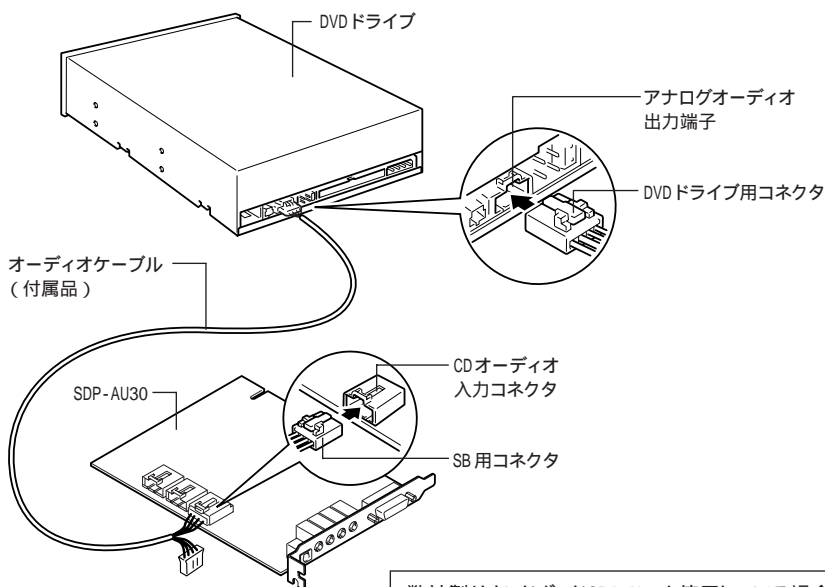
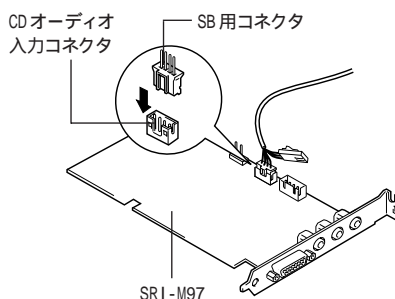
11 [プログラムを終了してください]画面に戻ったら、[終了]を選択して<Enter>キーを押します。

サウンドボードとの接続例

付属のオーディオケーブルでDVDドライブとサウンドボードを接続すれば、CDやDVD-ROMメディアの音声をサウンドボードに出力できます。
サウンドボードにオーディオ機器を接続してください。

※ 弊社製サウンドボードSRI-PJ/P/Fや弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に接続するときは、別売の弊社製サウンドボード用オーディオケーブルが必要です。弊社備品販売窓口にてご購入ください。【P33】

メモ　オーディオケーブルのSB用コネクタは2種類あります。使用しているサウンドボードのコネクタの形状に合ったコネクタを使用してください。

下の図は、弊社製サウンドボードSDP-AU30との接続例です。

Windows98/95 の設定

Windows98/95を使用している場合は、DVDドライブがDMA転送(*)をするように設定します。

＊ CPUを介さずにアクセスする高速な転送方式

※パソコンの機種によっては、パソコン本体がDMA転送に対応していないものがあります。パソコンのマニュアルを参照してください。

※ PC98-NXシリーズをお使いのときは、次の操作の前にCyberTrio-NXをアドバンストモードに変更してください。【P11「PC98-NXシリーズでの使用」】

DMA転送への設定変更手順は次のとおりです。

1　デスクトップ画面の[ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。

2　メニューが表示されたら[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)]をクリックします。

3　[ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ダイアログボックスが表示されたら、[ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ]タブをクリックします。

4　[CD-ROM]をダブルクリックします。

5　[TOSHIBA DVD-ROM SD-M1402]をダブルクリックします。

6　[TOSHIBA DVD-ROM SD-M1402のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]が表示されたら、[設定]タブをクリックします。

7　[□ DMA]をクリックしてチェックマーク(✓)を付けます。

DMA転送に対応していない機種では、[□ DMA]のチェックボックスがないかグレー表示になっています。

8　[OK]ボタンをクリックし、メッセージに従ってシステムを再起動します。

[DMA] にチェックマーク（✓）を付けます。

2
取り付け

Windows2000 の設定

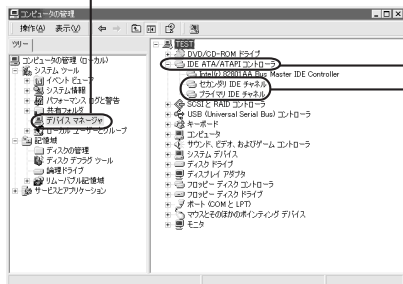
Windows2000を使用している場合は、DVDドライブがDMA転送をするように設定します。

※ パソコンの機種によっては、パソコン本体がDMA転送に対応していないものがあります。パソコンのマニュアルを参照してください。

1 **デスクトップ画面の［マイ コンピュータ］アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。**

2 **メニューが表示されたら［管理］をクリックします。**

3

① ［デバイス マネージャ］をクリックします。

② ［IDE ATA/ATAPIコントローラ］をダブルクリックします。

③ DVDドライブを接続しているチャネル（セカンダリまたはプライマリ）をダブルクリックします。

4

① ［詳細設定］タブをクリックします。

② ［転送モード(T)］の ▼ をクリックし、［DMA(利用可能な場合)］を選択します。初期状態では、［PIO モード］に設定されています。

※ DVDドライブをマスタとして接続しているときは、［デバイス0］の設定を変更してください。スレーブとして接続しているときは、［デバイス1］の設定を変更してください。

③ ［OK］ボタンをクリックします。

5 **メッセージに従ってシステムを再起動します。**

WinDVDのインストールと操作方法

DVD-VIDEOやVideo CDを再生するためには、本製品付属のソフトウェア「WinDVD」をインストールする必要があります。

メモ WinDVDの詳しい使いかたは、WinDVDのヘルプファイルを参照してください。

必要なシステム環境

WinDVDでなめらかに(コマ落ちすることなく)動画を再生するためには、次の環境が必要です。

CPU ....PentiumII 350MHz以上

メモリ 32MB以上

グラフィックボード ....DirectX6およびハードウェアオーバーレイに対応したボード(*)

ハードディスク容量 10MB以上の空き容量

サウンドボード ....48KHzステレオ再生オーディオシステムに対応したボード(弊社製SDP-AU30など)

* Permedia2を搭載するグラフィックボード(弊社製WHP-PS8SLなど)には非対応です。
WindowsNT4.0の場合、グラフィックボードのドライバによってはハードウェアオーバーレイに対応していないことがあるため、動作しないことがあります。
(弊社製グラフィックボードはハードウェアオーバーレイに対応しています。)

注意 **WinDVDのReadmeファイルに記載されているのは、必要最低限の環境です。なめらかに動画を再生するためには、上記の環境が必要です。**

インストール手順

※ 次の操作を行う前に、DVDドライブをパソコンに取り付けておいてください。【P12】

Windows98/95/2000の場合

1 周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにします。

2 WinDVDのCD-ROMをDVDドライブにセットします。

自動的にインストーラが起動します。
インストーラが起動しない場合は、デスクトップ画面の[マイ コンピュータ]アイコンをダブルクリックし、WinDVDのCD-ROMをセットしたDVDドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

3 以降は画面の指示に従って操作します。

4 シリアル番号の入力が要求されたら、CD-ROMケースの表面に記載されている文字列を入力します。

以上でインストールは完了です。

WindowsNT4.0の場合

1 「Windows98/95/2000の場合」【P19】の操作を行います。

2 「… Intel Piixideをすぐにセットアップすることができます。」というメッセージが表示されたら、[はい(Y)]ボタンをクリックします。

3 「Do you wish to read the license agreement and …」というメッセージが表示されたら、[はい(Y)]ボタンをクリックします。
ライセンスに関する文書(英語)が表示されます。

4 ライセンスの内容を確認したら、 をクリックしてライセンスの画面を閉じます。

5 「Have you read the license agreement and …」というメッセージが表示されたら、[はい(Y)]ボタンをクリックします。

6 インストール先のディレクトリを確認し、[OK]ボタンをクリックします。
初期設定では、起動ドライブの\PIIXIDEディレクトリにインストールされます。

7 「Follow Direction in README.TXT for driver …」というメッセージが表示されたら、[はい(Y)]ボタンをクリックします。

8 「[完了]ﾎﾞﾀﾝをｸﾘｯｸすると、ｾｯﾄｱｯﾌﾟを終了します」というメッセージが表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

9 [はい、直ちにｺﾝﾋﾟｭｰﾀを再起動します。]を選択し、[完了]ボタンをクリックします。
パソコンが再起動します。

10 パソコンが再起動したら、[ｽﾀｰﾄ]ー[設定(S)]ー[ｺﾝﾄﾛｰﾙ ﾊﾟﾈﾙ(C)]を選択します。

11 [SCSIｱﾀﾞﾌﾟﾀ]アイコンをダブルクリックします。

12 [ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]タブをクリックします。

13 使用していたIDEドライバ(初期設定では[IDE CD-ROM(ATAPI1.2)/Dual-channel PCI...])を選択し、[削除(R)]ボタンをクリックします。

14 「このﾄﾞﾗｲﾊﾞを削除しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい(Y)] ボタンをクリックします。

15 [追加(A)] ボタンをクリックします。

16 [ﾃﾞｨｽｸ使用(H)] ボタンをクリックします。

17 [配付ﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元(C)] にC:\PIIXIDEと入力し、[OK] ボタンをクリックします。

手順6でインストール先を変更した場合は、変更したインストール先のパスを入力してください。

18 [SCSIｱﾀﾞﾌﾟﾀ] に [Intel PIIX PCI Bus Master IDE Controller] が表示されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

19 「今すぐｺﾝﾋﾟｭｰﾀを再起動しますか?」というメッセージが表示されたら、[はい(Y)] ボタンをクリックします。

2

取り付け

以上でインストールは完了です。

WinDVDの起動

[スタート] – [プログラム(P)] – [InterVideo WinDVD(またはインストール時に指定したフォルダ名)] – [InterVideo WinDVD] と選択します。

※ DVDドライブは、出荷時に地域(リージョン)コードが設定されていません。初めてWinDVDを使用するときは、必ず【P22「地域(リージョン)コードの設定」】を参照して地域コードを設定してください。

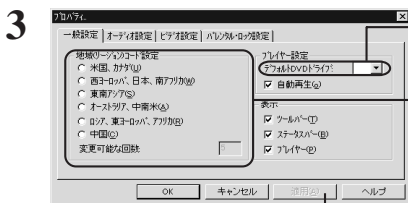
地域（リージョン）コードの設定

WinDVDは、出荷時に地域(リージョン)コードが設定されていません。次の手順で、再生するDVD-VIDEOの地域コードに合わせて設定してください。

メモ 地域(リージョン)コードは、DVD-VIDEOを再生できる地域を限定するためのものです。DVDドライブの地域コードとDVD-VIDEOの地域コードが合わないと再生できません。

1 WinDVDを起動します。【P21】

2 プレイヤー画面の （プロパティ）ボタンをクリックします。

3

① DVDドライブに割り当てたドライブ名を選択します。

② 再生するDVD-VIDEOに合わせて地域コードを選択します。

※ 日本国内向けに製造されたDVD-VIDEOを再生するときは、［西ﾖｰﾛｯﾊﾟ、日本、南ｱﾌﾘｶ(W)］を選択します。

③ ［適用(A)］ ボタンをクリックします。

注意 DVDドライブの地域コードは5回までしか変更できません。

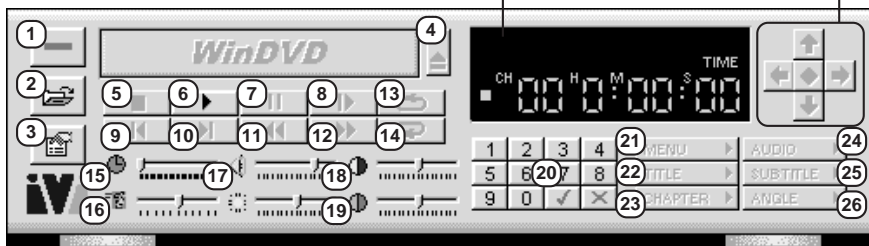
WinDVD の使いかた

WinDVDの基本的な操作方法を説明します。

メモ 詳しい操作方法はWinDVDのヘルプを参照してください。ヘルプは［スタート］－［プログラム(P)］－［InterVideo WinDVD(またはインストール時に指定したフォルダ名)］－［InterVideo WinDVD Help］と選択すると、表示されます。

＜プレイヤー画面＞

カウンタ
再生中のチャプターと再生時間を表示します。

矢印キー
上下左右の矢印でメニューを選択し、中央のボタンで確定します。

次のページへ続く

(1) [終了]ボタン .... WinDVDを終了します。

(2) [ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ...]ボタン ...... プレイリストウィンドウを表示します。

(3) [ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ...]ボタン ...... プロパティウィンドウを表示します。

(4) [ｲｼﾞｪｸﾄ]ボタン .... DVDドライブのトレーを排出します。

(5) [停止]ボタン .... 再生を停止します。

(6) [再生]ボタン .... 再生を開始します。

(7) [ﾎﾟｰｽﾞ]ボタン .... 再生を一時停止します。

(8) [ｽﾃｯﾌﾟ再生]ボタン ...... 一時停止中にクリックすると、1コマ進みます。

(9) [前のﾁｬﾌﾟﾀｰ]ボタン ..... 前のチャプターにジャンプします。

(10) [次のﾁｬﾌﾟﾀｰ]ボタン ..... 次のチャプターにジャンプします。

(11) [早戻し]ボタン .... 早戻しで再生します。

(12) [早送り]ボタン .... 早送りで再生します。

(13) [ﾘﾋﾟｰﾄ]ボタン .... 現在のタイトルまたはチャプタを繰り返し再生します。

(14) [ﾚｼﾞｭｰﾑ]ボタン .... メニューなどから復帰し、再生を再開します。

(15) [時間]スライダ .... タイトル内の指定した位置に移動します。

(16) [ｽﾋﾟｰﾄﾞ]スライダ .... 再生速度を変更します。再生速度を変更すると、音声は出力されなくなります。

(17) [ﾎﾞﾘｭｰﾑ]スライダ .... 音声の音量を調整します。

(18) [ｶﾗｰ調整1]スライダ .... ビデオの青色と黄色のバランスを調整します。

(19) [ｶﾗｰ調整2]スライダ .... ビデオの赤色と緑色のバランスを調整します。

(20) 数字キー .... 数字を選択し、[✓]ボタンをクリックすると直接チャプターを指定します。キャンセルするときは[×]ボタンをクリックします。

(21) MENU .... 再生中のDVD-VIDEOで選択可能なすべてのメニュー(ハードメニュー、オーディオメニュー、サブタイトルメニューなど)を表示します。

(22) TITLE .... 再生中のDVD-VIDEOで選択可能なすべてのタイトルを表示します。

(23) CHAPTER .... 再生中のDVD-VIDEOの全チャプターを表示します。

(24) AUDIO .... 再生中のDVD-VIDEOがマルチオーディをサポートしている場合に、オーディオを選択できます。

(25) SUBTITLE .... 再生中のDVD-VIDEOがサブタイトル(字幕表示)をサポートしている場合に、表示するサブタイトルを選択できます。

(26) ANGLE .... 再生中のDVD-VIDEOがマルチアングルをサポートしている場合に、表示するアングルを選択できます。

Power CD Playerのインストールと操作方法

CD TEXTに対応したCDを再生するためには、本製品付属のソフトウェア「Power CD Player」を使用します。

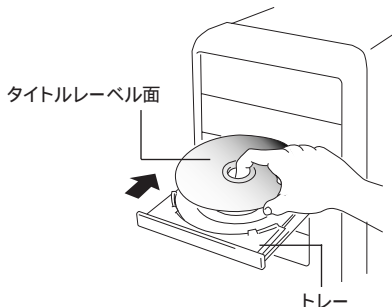
メモ Power CD Playerのインストール方法と操作方法は、別冊の「Power CD Playerクイックリファレンス」を参照してください。

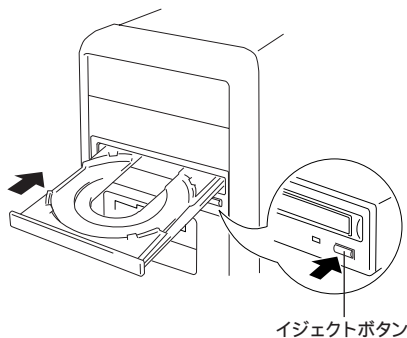
3 使いかた

DVD ドライブの基本的な操作方法を説明しています。

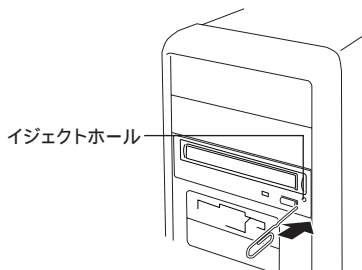
使いかた

● メディアをセットする

イジェクトボタンを押してトレーを出します。
タイトルレーベル面を上に向けて、トレーにセットします。
トレーを軽く押して元に戻します。

● メディアを取り出す

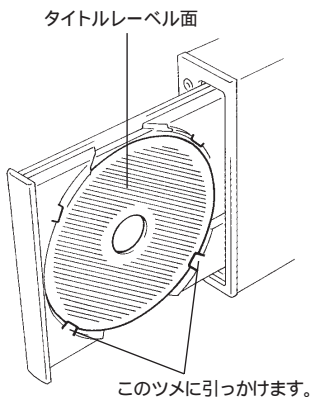
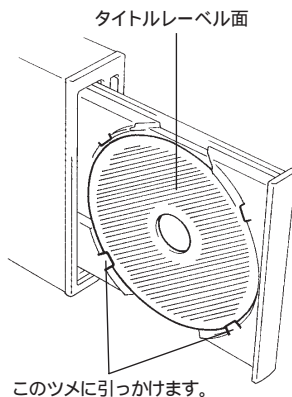
イジェクトボタンを押すと、トレーが排出されます。
メディアを取り出したら、トレーを軽く押して元に戻します。
WinDVDの操作でもトレーを排出できます。

● トレーが排出されないとき

停電などによって、メディアを入れたままの状態で電源が切れてしまうと、トレーが排出されなくなってしまいます。その場合は、イジェクトホールにゼムクリップを伸ばした物などを差し込んで、強制的にトレーを排出します。

⚠注意 この操作は、パソコン本体の電源スイッチをOFFにして30秒以上経ってから行ってください。電源スイッチをOFFにした直後はDVDドライブ内でメディアが回転しているため、強制的に排出すると、メディアを破損するおそれがあります。

次のページへ続く

● DVDドライブを縦置き（垂直）にしてパソコンに取り付けた場合
トレー下側のツメ2箇所にメディアが引っかけてセットします。

⚠注意　必ず図のように2箇所のツメで固定してください。また8cmCD（シングルCD）を使用するときは、市販の8cmCD用アダプタをCDに取り付け、アダプタを2箇所のツメに引っかけてセットしてください。ツメに引っかかっていないと、DVDドライブ内でメディアが外れて故障や破損の原因となります。

4 困ったときは

DVDドライブを使用していてトラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

現象と対処方法

主なトラブルと対処方法について説明しています。これらの確認を行っても正常に動作しないときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

DMA転送が有効にならない（Windows98/95）

DMA転送を有効にする設定【P17「Windows98/95の設定」】をした後でパソコンを再起動すると、設定が元に戻ってしまう（DMA転送が有効にならない）ことがあります。次の手順で再設定してください。

1. P17の手順 1 ～ 4 の操作を行います。
2. ［TOSHIBA DVD-ROM SD-M1402］をクリックし、［削除(E)］ボタンをクリックします。
3. ［デバイス削除の確認］ウィンドウが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
4. ［閉じる］ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。
5. P17を参照し、DMA転送を有効にする設定を再度行ってください。

パソコンの電源スイッチをONにしても電源が入らない

原因	対処方法
電源ケーブルが正しく接続されていない	パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにして、電源ケーブルがDVDドライブの電源コネクタに正しく接続されているか確認してください。【P12「取り付け方法」】

アクセスランプが点灯しない

原因	対処方法
メディアがトレーに正しくセットされていない	イジェクトボタンを押してトレーを排出し、メディアを正しくセットし直してください。【P25「使いかた」】
インターフェースケーブルが正しく接続されていない	パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにして、インターフェースケーブルがDVDドライブのインターフェースコネクタに正しく接続されているか確認してください。【P12「取り付け方法」】

イジェクトボタンを押してもトレーが排出されない

原因	対処方法
パソコンの電源が入っていない	パソコンの電源スイッチがONになっているか、パソコンの電源ケーブルはACコンセントに正しく接続されているか確認してください。
トレーに何か引っかかっている	トレーを確認してください。

メディアが入らない

メディアがトレーに正しくセットされていない	メディアを正しくセットし直してください。【P25「使いかた」】

パソコンが起動しない

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている	フロッピーディスクを取り出して、パソコンを再起動してください。

DVD-ROM メディア、CD が使用できない

非対応のメディアを使用している	【P7「特長」】を参照して、使用可能なメディアの種類を確認してください。
正しいドライブにアクセスしていない	データを読み出すときは、CD-ROMドライブのアイコンを開いてください。

音楽 CD の音声が出力されない

メディアがトレーに正しくセットされていない	イジェクトボタンを押してトレーを排出し、メディアを正しくセットし直してください。【P25「使いかた」】
メディアの不良	メディアに傷、汚れ、変形がないか確認してください。
DVDドライブとサウンドボードが正しく接続されていない	DVDドライブに接続したヘッドホンから音声が出力されているのに、サウンドボードに接続したオーディオ機器から音声が出力されない場合は、DVDドライブとサウンドボードが正しく接続されているか確認してください。【P16「サウンドボードとの接続例」】
オーディオ機器が正しく接続されていない	DVDドライブに接続したサウンドボードにオーディオ機器が正しく接続されているか確認してください。【各サウンドボードのマニュアル】

DVD ドライブが認識されない（Windows95 再セットアップ時）

起動ディスクの内容を変更していない	DVDドライブを使用してWindows95を再セットアップするときは、起動ディスクの内容を変更する必要があります。 【P29「Windows95の再セットアップ」】

5 付録

Windows95の再セットアップ

Windows95を再セットアップするときは、DVDドライブを認識させるために、起動ディスクの内容を変更する必要があります。

パソコンに付属の起動ディスクを使用する場合とWindows95上で作成した起動ディスクを使用する場合とで、変更手順が異なります。

※ Windows98の場合は、パソコンに付属の起動ディスク、Windows98上で作成した起動ディスクともにDVDドライブを認識できます。特別な設定は必要ありません。

※ WindowsNT4.0およびWindows2000の場合は、WindowsNT4.0またはWindows2000のCD-ROMおよびCD-ROMから作成した起動ディスクともにDVDドライブを認識できます。特別な設定は必要ありません。

パソコンに付属の起動ディスクを使用する場合

⚠注意 起動ディスクのバックアップディスクを必ず作成してください。以下の操作では起動ディスクの内容を変更します。オリジナルのディスクは大切に保管し、以下の操作にはバックアップディスクを使用してください。

1 DVDドライブ付属の「Power CD Player（フロッピーディスク）」内のDOSディレクトリにあるファイル「MELCDU.EXE」を、起動ディスクにコピーします。

2 Windows95のメモ帳やDOSのEDIT.EXEなどのエディタを使用して、起動ディスク内のCONFIG.SYSファイルとAUTOEXEC.BATファイルを次のように書き換えます。

（網掛け）部分が追加する記述です。

・CONFIG.SYS

＜修正前＞

```
DEVICE=A:\xxxx.SYS /D:xx_xxx
```

CD-ROMドライブ（DVDドライブ）によって、CD-ROMドライバのファイル名やデバイス名は異なります。

＜修正後＞

```
REM  DEVICE=A:\xxxx.SYS /D:xx_xxx
DEVICE=A:\MELCDU.EXE /A /D:MELCD001
```

REM: 追加します。「REM」の後ろに半角スペースを入力してください。（標準のCD-ROMドライバを無効にします）

DEVICE=A:\MELCDU.EXE /A /D:MELCD001: 行を追加します。（DVDドライブのドライバを有効にします）

次のページへ続く

・AUTOEXEC.BAT

<修正前>

```
A:\MSCDEX.EXE /D:xx_xxx /L:Q
```

<修正後>

```
REM  A:\MSCDEX.EXE /D:xx_xxx /L:Q
A:\MSCDEX.EXE /D:MELCD001 /L:Q
```

REM：追加します。「REM」の後ろに半角スペースを入力してください。

A:\MSCDEX.EXE /D:MELCD001 /L:Q：行を追加します。（DVD-ROMドライブをドライブとして登録します。）

3 変更した起動ディスクでWindows95を再セットアップします。

Windows95 上で作成した起動ディスクを使用する場合

1 Windows95上で起動ディスクを作成します。

作成方法は、Windows95のマニュアルまたはヘルプを参照してください。

2 DVDドライブ付属の「Power CD Player（フロッピーディスク）」内のDOSディレクトリにあるファイル「MELCDU.EXE」を、起動ディスクにコピーします。

3 Windows95のメモ帳やDOSのEDIT.EXEなどのエディタを使用して、起動ディスク内のCONFIG.SYSファイルに次の行を追加します。

```
DEVICE=A:\MELCDU.EXE /A /D:MELCD001
LASTDRIVE=Z
```

4 C:\WINDOWS\COMMANDフォルダ内のMSCDEX.EXEファイルを起動ディスクにコピーします。

下線部は、Windows95のインストールされているドライブのドライブ名です。

5 Windows95のメモ帳やDOSのEDIT.EXEなどのエディタを使用して、次のように入力します。

```
A:\MSCDEX.EXE /D:MELCD001
```

6 入力したら、起動ディスク内にAUTOEXEC.BATファイルとして保存します。

7 変更した起動ディスクでWindows95を再セットアップします。

製品仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

項目		仕様
対応インターフェース		ATAPI
最大データ転送速度(*1)	サステンド	・DVD-ROM　16200KB/sec（12倍速） ・CD-ROM　6000KB/sec　（40倍速）
	バーストDMA	33.3MB/sec（Ultra DMA 33）
データバッファサイズ		128KB
平均アクセスタイム		・DVD-ROM　95msec ・CD-ROM　80msec
動作電圧		5V±5%　　12V±5%
消費電力		平均：13W　　最大：22W
動作環境	温度	5～30℃
	湿度	8～80%（結露無きこと）
重量		950g
サイズ		146(W)×42(H)×193(D)mm
対応パソコン		IDEインターフェースおよび5インチベイを搭載する次のパソコン ・DOS/V機(OADG仕様)　・NEC PC98-NXシリーズ
対応OS		Windows98 Windows95(4.00.950 B/4.00.950 C)(*2) Windows2000 WindowsNT4.0(Service Pack4以降)
リード対応メディア		・DVD-ROM　・DVD-VIDEO　・DVD-R　・CD-ROM Mode1 ・音楽CD(CD-DA)　・CD-ROM XA Mode2(Form1、Form2) ・CD TEXT　・Photo CD(*3)　・Video CD　・CD Extra ・CD-R　・CD-RW

*1　DMA転送が使用できない機種の場合は、上記の転送速度は出ません。その場合の最大転送速度はお使いのパソコン環境によって異なります。

*2　本製品はWindows95（4.00.950/4.00.950a）では使用できません。Windows95のバージョンは次の手順で確認できます。
　① ［ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ］ アイコンを右クリックします。
　② 表示されたメニューから ［ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)］ をクリックします。
　③ ［ｼｽﾃﾑ:］ に Windows95 のバージョンが表示されます。

*3　再生には、Photo CDに対応したソフトウェアが必要です。

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■備品販売窓口

・インターネット .. http://www.melcoinc.co.jp/qa/info3.html
　※ ホームページに記載の手順でお申し込みください。
・FAX情報 ...... 052-614-6911(BOX No.2800)
　※ FAX情報に記載の手順でお申し込みください。
・郵送 .... 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 備品販売窓口
　※ 希望する備品名、ご購入の製品名(シリアルNoも必要)、送付先住所、氏名、連絡先をお書き添えください。

■ 修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
　［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
　［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

製品送付先	〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内33号6階 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-889-2104

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

DVD-ROM12FB ユーザーズマニュアル

2000年2月1日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

（ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/）

@nifty

MELCO Station <GO SMELCO>

FAX情報

052-614-6911

情報を受け取りたいFAXの電話でダイヤルし、
音声案内に従って操作してください。
※プッシュ信号（ピ・ポ・パ音）の出るFAXを
　使用してください。

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15
　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990

月～金　9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝　9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月～金　9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認して
　おいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

「メルブック」シリーズ

①メモリを知ろう
②LANを知ろう
③外部記憶装置を知ろう
④Windowsを知ろう
⑤386マシンをマルチメディアパソコンにする
⑦CPUアクセラレータを知ろう
⑪イメージクリップセットとWordで
　年賀状をつくろう
⑫外部記憶装置をグレードアップしよう
⑬イメージクリップボードでホームページを
　つくろう
⑭インターネットを始めよう
⑮ミニコンポ 企業での導入事例

1冊1,000円＋送料270円　※書店では販売しておりません。

お申し込み先		
	1.インターネット	http://www.melcoinc.co.jp/qa/info3.html
	2.FAX情報	052-614-6911(BOX No.0800)
	3.郵送	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ 備品販売窓口

PY00-25199-DM10-01

1-01